

## 成績評価と客観的な指標の算出方法

### 成績評価

評価の対象については、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により単元テスト、答案練習、授業内に行う効果測定、課題の提出、出席等とする。

なお、学業成績は、学期または必要に応じて、授業の出席状況とともに保護者宛に通知する。

- (1) 学業成績の判定は、「優・良・可・不可」の4種で判定し、「優・良・可」を合格とし「不可」は不合格とする。成績証明書にはランクの記載をする。

| ランク | 得点      | 評定  | 評価内容                   |
|-----|---------|-----|------------------------|
| 優   | 80点以上   |     | 内容を十分に理解し、優れた成績をおさめている |
| 良   | 60点～79点 |     | 内容を理解している              |
| 可   | 50点～59点 |     | 内容をほぼ理解している            |
| 不可  | 50点未満   | 不合格 | 内容を理解していない             |
| 認定  | —       | —   | —                      |

- (2) 授業科目を履修し、各科目の成績を判定の上、「優・良・可」を取得した学生には当該科目の履修を認定する。
- (3) 学科ごとの履修科目については、既定の成績を満たさない者に対し補講への参加、追試験の受験を義務付け、全ての履修科目に関する知識・技術を習得するものとする。
- (4) 試験内容や判定基準は、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認する。

### 客観的な指標

- (1) 上記「成績評価」のとおり授業科目ごとに行う得点評価方法に基づき、履修科目の成績評価の点数化を行う。科目ごとの得点を各学科・学年・クラスごとにまとめるとともに、各学生の全科目の平均点を算出する。
- (2) 各学生の平均点の一覧化データを作成するとともに、100点より10点ごとの指標に応じた成績分布図を作成。このデータ及び分布図を用いて、各学生が所属する学科の中でどの位置にいるかを確認する。